

地域再生計画（地方創生港整備推進交付金）中間評価調書

都道府県名	長崎県	事業実施主体	長崎県、雲仙市	地域再生計画名	信仰の歴史からの水産業振興計画
計画期間	平成28年度～令和2年度	評価責任者	長崎県土木部港湾課長、水産部漁港漁場課長、雲仙市産業部農業村整備課長		

	指標	基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価		
		基準年度		年度	中間実績	基準年度			指標総数	達成数			
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	五島市マグロ出荷量の増加	900t	H26	900t	H30	1,765t (H29)	1,350t	H32	○	4	3	既に最終目標値を達成している。
	指標2	五島市観光客の増加	400,282人	H26	467,481人	H30	409,539人	489,080人	H32	×			H28年度に熊本地震の影響により、観光客数が約393百万人まで落ち込んだが、その後は増加傾向に向っており、引き続き計画に則した整備を図り、目標達成を目指していく。
	指標3	五島列島キリシタンクルーズ参加者の増加	969人	H27	1,500人	H30	4,608人	2,400人	H32	○			既に最終目標値を達成している。
	指標4	雲仙市の漁業生産量の増加	275t	H26	275t	H30	299t (H29)	334t	H32	○			年ごとの漁獲量の変動があるものの、養殖筏も増えてきており今後も漁業生産量の増加が見込まれる。引き続き計画に則した整備を図り、目標達成を目指していく。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1	五島列島キリシタンクルーズ利用人数	969人	H27	1,500人	H30	4,608	2,400人	H32				既に最終目標値を達成している。
	指標2												
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価							
			計画	中間年度 (H30)	最終実績 見込み								
特別措置を適用して行う事業	港湾施設（玉ノ浦港） （越首地区） 防波堤 浮棧橋(1) 浮棧橋(2) （小浦地区） 航路(-4.0m) 船揚場(改良) 物揚場(-2.0m)(1)(改良) 物揚場(-2.0m)(2)(改良) （向小浦地区） 物揚場(-2.0m)(改良)		80m 1基 1基	31m 0.8基 0.2基	80m 1基 1基	防波堤工事の費用増大等から、事業進捗が遅れているため、必要に応じ、計画期間の延長も視野に入れ、引き続き、計画に則した整備を目指していく。							
	港湾施設（相の浦港） 可動橋(改良) 岸壁(-7.0m) 物揚場(-2.0m)(改良) 物揚場(-3.0m)(1)(改良) 物揚場(-3.0m)(2)(改良) 浮棧橋B(改良) 浮棧橋C(改良) 浮棧橋D(改良) 道路(改良)		1基 170m 360m 50m 85m 1基 1基 1基 910m	1基 70m 180m 0m 0m 0.8基 0基 0.1基 720m	1基 170m 360m 50m 85m 1基 1基 1基 910m	概ね計画どおり整備進捗が図られている。							
	港湾施設（杵島港） 浮棧橋(改良)		1基	0.2基	1基	概ね計画どおり整備進捗が図られている。							
	漁港施設（京泊漁港） 浮棧橋 臨港道路 橋梁(改良)		1基 120m 3基	0基 0m 0基	1基 120m 3基	当初計画に対し、総事業費の増や地権者協議などで進捗が遅れているため、必要に応じ、計画期間の延長も視野に入れ、引き続き、計画に則した整備を目指していく。							
その他の事業	五島列島キリシタンクルーズ		地域活性化			個人では行きにくい離島間の世界遺産構成遺産を含む史跡を海上タクシーで巡回し、観光客の集客を図るほか、リピーターの確保を目指し、地域活性化を図っている。							
	市道白這線道路整備事業		地域住民の安全性・利便性の向上			奈留島夏井地区に平成25年度から新規参入したマグロ養殖事業に伴う大型車両の交通量増加が見込まれる。しかし、一般県道奈留島線及び白這～江上線が狭小であるため、車両間の離合が困難であり、歩行者及び車両の通行に支障をきたしており、新規に白這地区と宿輪地区とを結ぶ道路を整備し、地域住民の交通の安全及び利便性の向上を図っている。							
	漁業担い手確保推進協議会		担い手育成			基幹産業である水産業が、資源状況の悪化等により漁業経営の不振を招いており、漁業就業者数が減少している状況にある。このため、新規漁業就業者の定着を促進するため次代を担う漁業後継者育成事業を実施し、水産業の普及及び推進に努めている。							
	原城跡保存整備事業		世界遺産登録実現に向けた受入体制の強化			世界遺産構成遺産である原城跡の世界遺産登録及び保存に向けて、駐車場整備や説明板の更新等のハード整備だけでなく、タブレットを使用した新たなガイドシステムの構築等のソフト整備を行い、世界遺産登録実現に向けた受入体制の強化を図っており、平成30年度に世界遺産登録が実現した。							
計画外で独自に実施した事業													

④評価方法	まち・ひと・しごと創生対策懇話会を開催し、中間目標値の実現状況に関する評価・検討等を行う。			
⑤中間評価の公表方法	長崎県土木部港湾課のホームページに掲載する。			
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、陸揚げ、準備作業の軽労化や作業の効率化など就労環境の改善及び安全性の向上を図る施設を総合的に整備することにより、養殖用餌や稚魚の安定的な確保といった効果が得られ、養殖の推進等により雇用の創出を期待している。また、世界遺産登録による観光客の施設利用の増加に対応した施設の整備を行い、利便性・安全性・満足度の向上を期待している。なお、指標2の五島市観光客の増加については、H28年度の熊本地震の影響を受けており、現時点で目標達成の見込みが厳しい状況にあるが、観光客数の増加に向け、引続き事業を図っていくものである。その他の指標は、H30年に中間目標を達成しているため、引き続き事業を行うことで目標は達成できると考える。			
⑦今後の方針等	<b>中間評価結果の反映状況</b>	<b>有りの場合その具体的内容</b>		
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td data-bbox="498 369 1213 457" style="text-align: center;">地域再生計画の見直し ( <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 )</td> <td data-bbox="1213 369 2887 457" rowspan="2" style="vertical-align: top;">計画上の施設整備により、水産業及び観光業の振興が図られ、目標は概ね達成される見込みであるが、防波堤・浮棧橋の費用増大等から、事業進捗が若干遅れている。 このため、中間評価の結果を踏まえ、計画変更や事業費の増額、事業期間を2年延伸する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="498 457 1213 531" style="text-align: center;">令和2年度予算要望額への反映 ( 有 <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> 無 ) 有りの場合の増減額 千円</td> </tr> </table>	地域再生計画の見直し ( <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 )	計画上の施設整備により、水産業及び観光業の振興が図られ、目標は概ね達成される見込みであるが、防波堤・浮棧橋の費用増大等から、事業進捗が若干遅れている。 このため、中間評価の結果を踏まえ、計画変更や事業費の増額、事業期間を2年延伸する。	令和2年度予算要望額への反映 ( 有 <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> 無 ) 有りの場合の増減額 千円
地域再生計画の見直し ( <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 )	計画上の施設整備により、水産業及び観光業の振興が図られ、目標は概ね達成される見込みであるが、防波堤・浮棧橋の費用増大等から、事業進捗が若干遅れている。 このため、中間評価の結果を踏まえ、計画変更や事業費の増額、事業期間を2年延伸する。			
令和2年度予算要望額への反映 ( 有 <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> 無 ) 有りの場合の増減額 千円				
⑧今後の方針等に対する対応	<p>●事業期間延長及び事業費増額の計画の変更の認定申請を予定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画期間 認定時H28～R2→見直し後H28～R4（計画期間を2年間延長）</li> <li>・総事業費 認定時1,412,000千円→見直し後2,848,150千円（1,436,150千円増）</li> </ul> <p>本地域再生計画では、概ね目標を達成できる見込みである。このため、引き続き事業を進め、さらなる地域の活性化を目指す。</p>			